

平成 27 年  
第 3 回町議会定例会

# 行政報告

(平成 27 年 9 月 2 日)

幕別町長 飯田 晴義

平成27年第3回町議会定例会が開催されるにあたり、当面する町政の執行につきましてご報告をさせていただきます。

### (功勞者)

本年も10月1日に119年目の開町記念日を迎えます。

偉大な先人たちが理想郷の実現を目指し、不屈の精神で本町発展の礎を築かれて以来、町民各位の限りない郷土愛により、本町が十勝の中核的な町として発展を続けておりますことに対し、深甚なる敬意と感謝を捧げるものであります。

例年、開町記念日に本町の功勞者を顕彰させていただいておりますが、過日、表彰者選考委員会からいただきました答申を尊重し、本年は8名の方々を顕彰させていただくことといたしました。

自治功勞賞として、永年にわたり町長として本町の自治振興に貢献されました札内中央町の岡田和夫さん、議会議員、議会議長として貢献されました相川の古川稔さん、同じく議会議員として貢献されました栄の牧野茂敏さん、教育委員、教育委員長として本町の教育行政の振興に貢献されました札内青葉町の沖田道子さん、固定資産評価審査委員として適正な審査に努め、本町の税制度の公平性の確保に貢献されました忠類協徳の姉崎秀男さんの、5名の方々を顕彰させていただくことといたしました。

社会功勞賞としては、永きにわたり消防団員として地域住民の安全確保にご功績のありました駒畠の村上耕作さん、五位の橋本浩弥さんの、2名の方々を顕彰させていただくことといたしました。

産業功勞賞としては、永きにわたり商工会の理事、副会長、忠類村においては会長を務められ、本町経済の活性化に尽力された忠類白銀町の加藤修治さんを顕彰させていただくことといたしました。

受賞されます皆さんの永年にわたるご活躍とご功績に対しまして、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げる次第であります。

## (地方交付税)

次に、本年度の普通交付税について申し上げます。

7月24日、国は平成27年度の普通交付税大綱に基づき、各自治体へ交付する普通交付税の総額を1兆5,495億円、前年度との比較では1,229億円、0.8%の減と決定いたしました。

本年度の算定にあつては、自治体が、まち・ひと・しごと創生に取り組むための財政需要を算定するために「人口減少等特別対策事業費」が新設されるとともに、市町村合併による行政区域の広域化を踏まえた経費の加算や見直しが行われたところであります。

こうした状況の下、決定されました本町の普通交付税額は5億6,340万6千円で、前年度との対比では2,475万5千円、0.4%の減となりました。

本年度においては、先ほど申し上げました「人口減少等特別対策事業費」の新設などにより、基準財政需要額が前年度に比べ増額となったものの、基準財政収入額が前年度に比較して増となったことなどが減額となった主な要因と分析いたしております。

なお、本年度の決定額と当初予算計上額の比較におきまして、約1億円の留保財源が生じたところでありますが、除排雪経費など補正予算の財源として、今後の財政運営に有効に活用してまいりたいと考えております。

国は、本年6月に閣議決定した「骨太の方針」において、地方交付税の上乗せ措置である「別枠加算」や「歳出特別枠」についての見直しの考えを示しておりますが、地方交付税は地方固有の一般財源であるとの認識の下、北海道や町村会と連携し、その総額の確保に向けて、強く働きかけてまいりたいと考えております。

## (定住自立圏次期共生ビジョン)

次に、定住自立圏次期共生ビジョンについて申し上げます。

十勝においては、平成23年7月に帯広市と各町村間で「定住自立圏の形成に関する

る協定書」を締結し、同年9月には共生ビジョンを作成いたしました。

現共生ビジョンにつきましては、毎年度、所要の見直しを行いながらフードバレーとかちの推進や移住・交流の促進などの取組を進め、一定の成果を挙げてきたところではありますが、本年度をもって期間満了となることから、次期共生ビジョンの策定作業を進めているところであります。

策定のスケジュールにつきましては、11月までに原案を作成し、12月に市町村のパブリックコメントの実施、来年1月から2月にかけて市町村長意見交換会や共生ビジョン懇談会等での検討などを経て、案を確定することとしております。

地方創生や地域の活性化につながる新たな取組を加えることなどを検討しているところであり、現協定で読み込めない項目については、変更が必要となりますことから、協定変更の手続きを来年3月定例会に提案させていただき予定といたしております。

#### **(8月11日の局地的な大雨と強風による農作物などの被害状況)**

次に、8月11日の局地的な大雨と強風、雹による農作物などの被害状況について申し上げます。

南から暖かく湿った空気が北海道上空に入って大気の状態が不安定になった影響により、十勝管内は8月11日午後、局地的な大雨に見舞われました。

本町では、午後2時36分に大雨警報が発令されたことに伴い、速やかに関係職員による第1次警戒体制を敷き、情報収集に努めるとともに出動態勢を整え、緊急事態に備えたところであります。

その後、相川では午後3時から4時までの1時間に40.5mm、日新では28.5mmの激しい雨が降りましたが、午後7時頃には雨も治まり、午後10時45分には大雨警報も解除されたことから、同時刻に第1次警戒体制を解いたところであります。

本町におきましては、大きな被害には至らなかったものの、農作物の倒伏や町道の路肩崩壊などの被害が発生いたしました。

町内各農協を通じて確認をいたしました農業被害についてであります。大雨と強風などによる影響で豆類57ヘクタール、デントコーン20ヘクタール、スイートコーン14ヘクタール、そば10ヘクタールの合計101ヘクタールの倒伏とD型ハウスの一部損壊が3棟確認されました。

倒伏したスイートコーンにつきましては、その後収穫が完了しておりますが、収量・品質等への影響は、ほとんどなかったとのことであります。

豆類等は今後の天候により回復が見込める程度の被害でありましたが、今後とも関係機関の指導をいただきながら推移を見守ってまいりたいと考えております。

また、町道など41か所において路肩や法面の崩壊、砂利道洗掘などの被害が発生いたしました。速やかに復旧作業に取り組んでいるところであり、被害総額はおよそ375万円と見込んでおります。

#### (農作物の生育状況)

次に、農作物の生育状況について申し上げます。

本年は、春先から良好な天候に恵まれたものの、6月から7月にかけての雨不足による影響が懸念されておりましたが、その後、適度な雨に恵まれ現在は回復傾向にあり、収穫の終わりました小麦をはじめ、その他の作物においても平年を上回る状態で生育しているところであります。

主な作物について申し上げます。

小麦につきましては、昨年より3日早い7月18日から収穫作業が始まり、期間中、降雨に見舞われた日もありましたが、倒伏や穂発芽などの発生もなく順調に作業が行われ、8月2日までに全町の約3,520ヘクタールの収穫を終えたところであります。

収穫量につきましては、開花期の好天や6月下旬から7月上旬にかけて高温とならず実の肥大する期間が長かったなどの要因により、現時点では、10アール当たり、昨年を3.5倍程度上回る12.5倍と推定されております。

品質につきましても良好で製品歩留まり率は高く、製品量は平成23年から栽培が開始されました「きたほなみ」史上最高の収量が見込まれ、今後の出来秋に弾みとなる喜ばしい結果となっております。

9月1日におけるその他の作物の生育状況は、馬鈴薯は4日から6日早く、生育は「良」となっております。

てん菜は5日早い状況で「良」となっております。

菜豆、小豆は莢の付く時期が若干遅れ莢数も平年を下回っており1日の遅れ、大豆は平年並みであります。

また、飼料用作物につきましては、牧草は忠類地区で平年並み、幕別地区においては7日の遅れ、サイレージ用とうもろこしは各地区とも4日早い状況であります。

今後におきましても、好天に恵まれ、各作物の順調な生育と、平年を上回る豊穰の秋を迎えられますとともに、収穫時などに農作業事故がないよう心から願っているところであります。

#### **(地域防災避難訓練について)**

次に、地域防災避難訓練について申し上げます。

昨年5月に修正いたしました地域防災計画をもとに、本年を初年度に5年計画で市街地を中心とした地域防災避難訓練を実施することとしており、本年度は、10月18日、日曜日に札内南小学校を避難所とする7公区を対象に行う予定としております。

避難訓練の内容といたしましては、災害発生から避難所への避難までを地域の自助・共助の確認と実践をするものと、避難所の開設から運営について公助との協力のもと実施するものの二つであります。

また、合わせて避難所である札内南小学校においては、幕別消防署や北海道開発局帯広開発建設部の協力を得て災害時の救急対応や初期消火の実演、災害車両の展示、さらには防災関連用品の展示等を通して、対象公区の住民の皆さんはもちろんのこと、

広く町民の方の参加をいただき意識啓発に努めたいと考えております。

**（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型））**

次に、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金について申し上げます。

この交付金につきましては、地域経済の活性化に資することを目的として、地方公共団体が実施する地域における消費喚起策やこれに直接効果を有する生活支援策に対し国が支援するもので、本町におきましては、三つの事業に取り組んでおります。

はじめに、幕別町商工会が発行しましたプレミアム商品券についてであります。

プレミアム商品券の予約は、商品券発行総セット数2万2,000セットに対しまして、5,098人、2万3,609セットの申込みがあり、抽選の結果、購入辞退者113人を除く4,744人の方に購入をいただき完売したところであります。

プレミアム商品券の発行により、商工業者の営業活動の高まりと地域住民の消費喚起につながり、流出しがちな購買力を地域内にとどめられればと期待をいたしているところであります。

次に、旅行閑散期を対象として、町内の3つの宿泊施設の宿泊代金の一部を助成する誘客促進事業についてであります。

株式会社JTB北海道帯広支店を業務委託先として、同社の関連会社が運営する旅行予約サイト「るるぶトラベル」を窓口として旅行商品の販売を開始したところであります。

助成金額につきましては、1泊1人当たり3,000円から5,000円の範囲で、宿泊代金の2分の1を超えない金額を正規の宿泊代金から割り引くもので、9月1日から翌年1月末までを対象期間としておりますが、助成対象となる宿泊日の設定は、誘客促進の目的に沿うよう、各宿泊施設と調整の上実施いたしております。

次に、子育て世帯の経済的負担の軽減と町内事業所の売上向上を図る子育て応援商品券についてであります。

幕別町に住民登録をされている18歳未満のお子さんを養育している世帯を対象

とし、3人以上のお子さんを養育している世帯については1万円、3人未満の世帯については5千円分の子育て応援商品券を交付するものであります。

本年6月5日に、対象である2,646世帯へ申請書を発送しており、8月31日現在の申請件数は2,539世帯で申請率は96.0%であります。

引き続き町広報紙等を通じて制度の周知を図りながら申請を促してまいりたいと考えております。

### (公共工事の発注状況)

次に、公共工事の発注状況について申し上げます。

8月末現在の公共工事の発注済額は、平成26年度からの繰越事業と新庁舎の今年度分を含め31億8,420万円で、発注率にいたしますと83.0%となっております。

土木工事関係では、札内西大通や明野6線、中当基線などの道路整備工事のほか、幕別地区暗渠排水工事、札内北・幕別両地区の耐震性貯水槽整備工事、新生地区外2地区の配水管布設工事などの発注を終えております。

また、建築工事関係では役場新庁舎建設工事の地中熱ヒートポンプ設備工事をはじめ、幕別町民プール屋根改修工事ほか、百年記念ホール屋根防水改修工事などの発注を終えております。

今後は、札内中学校運動場改修工事や札内9号団地道路3号道路整備工事等の発注を予定しており、安全に工事が進められるよう適期の発注と無理のない工期設定に努めてまいりたいと考えております。

以上、当面する諸課題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆様には、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。